



茨城ワイズメンズクラブ

2019年度~2020年度

5月報 Vol.141

強調月間テーマ

EF・JEF

THE Y'S MEN'S CLUB OF

IBARAKI

CHARTERED 2006



国際会長主題：より良い明日のために今日を築く  
 アジア太平洋地域会長主題：Action  
 東日本区理事主題：勇気ある変革、愛のある行動  
 関東東部部長方針：“紡ぐ”ワイズのこころ  
 茨城ワイズ会長主題：“みんな～、リーダーになろうよ～”

### <5月例会プログラム>

と き:2020年5月8日(金)  
19:00~21:00

と ころ:筑波学園教会教育会館 1F  
※オンライン開催の可能性がります

司 会:熊谷 光彦

開会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

ワイズソング:

ワイズ信条:

- 1、自分を愛するように  
隣人(りんじん)を愛そう
- 1、青少年のために YMCA に尽くそう
- 1、世界的視野をもって  
国際親善をはかろう
- 1、義務を果たしてこそ  
権利が生ずることをさとりう
- 1、会合には出席第一  
社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・食前感謝:

協 議:

新型コロナウイルス禍での活動 等  
ハッピーバースデー&

おめでとう結婚記念日:

スマイル:

茨城YMCA報告:大澤 篤人

閉会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

### ★巻頭言★「気付き」

村田 あつし

今回は少し変な文章を書きます。読みづらいかもかもしれませんが、もしよろしければお付き合いください。

ここでは具体的なことは書けないのですが、4月17日に個人的にすごくショックな事案が起きました。どうしてこんなことになってしまったのだろう、と悲しくなりました。コロナウイルスの件で、世界のみなさんが大変に感じておられることに比べればわたしの事案は些細なことだとは思いますが、ただ、わたしは大きくショックを受けました。

18日から19日にかけての週末も、普段通りに過ごしながらも、悶々とした思いを抱えていました。そして19日の夜もまた鬱々としていたのですが、ふと、ひとつの考えが頭に降りてきました。

それは「因果応報」という言葉です。わたしはこの言葉を、常々座右の銘というか、目の前で起こる事象には全て原因があって結果がある、という考えを持って生きてきた人間でした。しかし、本当に恥ずかしいことなのですが、この言葉を他人の言動に当てはめて使い続けてきたものの、自分の言動にも当てはめることをすっぽりと忘れて(もしくは見てみぬフリをして)いたのです。

今回の事案こそが自分のやってきた過ちが因果応報になって返ってきたことだ、と初めて認識しました。本当に恥ずかしいことです。ただ、このことをちゃんと認識しないと、自分自身はもはや変われないと深く思いました。決してこの日抱いた気付きを忘れないようにしたいと強く思いました。そして、自分がこれまでに犯してきた過ちを素直に認めることがまずは最初の一步なのだと思います。

わたしはキリスト者ではありません。これまた情けない話なのですが、聖書の内容もいまだによく理解していません。ただ、この考えに至った2020年4月19日という日はもしかしたらわたしが生まれ変わる日なのかもしれません。もし、聖書にもこれに似た教えがあるようでしたら、みなさん教えていただけませんか。まだまだ未熟な人間ですが、ワイズ場でこれからも学ばせていただければ、わたしにとってこれ以上の喜びはありません。

### ☆今月の聖句☆

神はわれらの避け所、また力。苦しむとき、そこにある助け。それゆえ、われらは恐れない。たとい、地は変わり山々が海のまなかに移ろうとも。(詩篇 46 編 1~2 節)

ワイズメンズクラブの最大の目的は『YMCA の活動を支援する』ことです。その1つとして YMCA 維持会員になっていただいております。YMCA は会員団体であり、会員に支えられ地域に根ざした活動を展開しております。YMCA 維持会員とは、そのような YMCA の使命に賛同し、その運動に主体的に参加し、YMCA の継続と発展に寄与する会員です。維持会員登録をご希望の方は茨城 YMCA 大澤(茨城ワイズメンズクラブ連絡主事)までご連絡下さい。

## 【茨城クラブ 4月例会報告】

4月例会は先月に引き続きオンラインでの開催となりました。Skypeを利用し5人のワイズメンバーがオンラインで会することができました。4月10日19時に熊谷会長が開会宣言を行い、各人自宅からの参加となりました。

ワイズメンズクラブの活動としての見通しはなかなか立たないため、各人が近況を話し、コロナ禍のなかの日々の過ごし方などについて報告しあいました。みなさん、いつもにも増して定期的な運動を取り入れているようです。世の中の流れとしても、今回の件をきっかけに健康増進への意識はますます向上しそうだと感じます。また、ここぞとばかりに料理の腕を奮っているメンバーも多いですね。メンバーのお一人のご息子は米国在住とのことで、あちらでの今の生活の様なども聞かせてもらうことができました(姪っ子の結婚式が4月にハワイで催される予定だったところが中止になってしまったとのことです、)。イースターの準備の話なども聞きました。

特に協議した内容もなく、終始リラックスした雑談になりました。メンバーの感想を以下に記します。

・ZOOMなどのツールもあるが、Skypeのチャットを使うと顔を出さなくともよいので気安く参加できる(部屋や服装が映らないので)。

・負担も少ないので、状況が沈静化してもたまたまオンラインでの例会を行ってもよい。

21時ちょうどに閉会となりました。その日は疲れていたもので書記村田は22時には床に就いておりました。これもオンライン例会ならではの良さです。



### 4月例会(オンライン開催)出席状況

出席者: 会員 5名(熊谷、村田、稲本、柳瀬、片山)、メネット: 0名、スタッフ: 0名、リーダー: 0名、ゲスト: 0名、出席総数数: 5名、在籍者会員数: 9名、会員出席率: 56%

## 【茨城クラブ メンバー紹介】

新型コロナウイルス禍により、ワイズメンズクラブとしてのリアルな活動が展開できない状況となっております。そこで、改めてお互いを知るべく、また他のワイズの方にも知っていただくべく、今月は自己紹介コーナーを設けました(原稿受領順に掲載)。

- なまえ:ペンネーム、ニックネームも可。
- 仕事 and/or 現在のライフワーク and/or 日々の過ごし方 and/or 趣味。
- ワイズに入った時期ときっかけ、ワイズでやりたいこと、やればよいなと考えていること等。

a. 茨城クラブの書記を務めております村田です。2001年より4年間茨城 YMCA でボランティアリーダーとして活動しておりました。リーダーネームは「ごう」でした。

b. 大阪生まれ、大学で茨城にきて4年間を過ごしました。いまは川崎に住み東京で銀行員をしています。5歳の息子がおり、少年野球やスイミングなどに一緒に取り組んでいます。テレビ番組「ザ・ノンフィクション」「ドキュメント 72時間」などで他人の人生を垣間見るのが好きです。

c. 大学を卒業して10年経った2015年に、出張のうちに茨城 YMCA 会館に立ち寄ったところ、2003年から長らく総主事を務めておられる宮田ワイズに誘われ、軽い気持ちで入ってからもう5年になります(5年間で見かけもだいぶおじさんになりました)。2016年からブリテン作成を担当しております。今では大切なサード・プレイスのひとつになりました。

a. 会長の熊谷です。茨城 YMCA の子どもたちには、キャベジン(キャベツ星人を略して、胃腸薬ではなく…)と呼ばれています。

b. 2000年の夏、筑波サーキットでの8時間耐久自転車レースに人数が足りないからと誘われて「じゃ1回だけね」と渋々顔で出場しました。ところがそれからは毎回出場(年3回、ツインリンクもてぎの耐久レースにもエントリー)するほどにロードバイクにのめり込んでしまいました。部屋の壁にぶら下げてあるフルカーボンロードバイクは戦友、その友情にかけたお金の額はぜったい家族に言えません。現在レースは卒業したものの「いばらきサイクリング協会」の理事(広報担当)として日々協会Webサイトを更新しています。

c. 2017年4月でした。前年秋のチャリティーランの会場で、当時の会長にスカウトされました。

かたやま けい  
a. 片山 啓。

b. 仕事はコンサルです。橋梁設計の仕事をしています。専門は基礎工で、最近では神戸やフィリピン案件を中心に従事しています。その他、学会活動の一環でF1(福

島第一原発)の廃炉ワーキンググループに参加し、処理水問題に関わっています。家族は妻1人娘1人。ライフワークは専門の個人研究とランニングです。国内外の出張時は必ず走り、町や人の様子を見るのが好きです。

c. ワイズには、茨城クラブの初代会長の武林敬(ひとし)さんに誘われチャーターメンバーとして入会しました。しかし、その敬さんは既に召天され、リーダー時代の仲間も数名既に召天されています。彼らの無念を覚え、少しでもYのために彼らの分まで尽くしたいという思いでおります。

- a. 金子和雄。高崎市生まれの新潟県中里村(合併で十日町市に編入)育ちです。中学はマラソンの服部勇馬選手と同じです。
- b. つくば市議会議員です。子どもが障害を持って生まれ、多くの人々にお世話になりながら育ちました。少しでも地域の中で共に生活できればと活動しています。
- c. 設立時に声をかけていただきました。(ワイズの活動には)中々時間が取れなくて迷惑をかけています。

- a. 柳瀬です。
- b & c. 東京都北区生まれ。中学と高校はミッションスクールに在学、毎日の礼拝で賛美歌を歌うことが大好きでした。ミッション系の大学に入学するもテニスに明け暮れて、雨の日だけチャペルアワーに出席する日々を過ごしました。結婚し2人の子どもを授かり、姉妹ともにキリスト教の幼稚園に入園。時は流れ、次女はアメリカの大学に入学、直ぐにクリスチャンに。その時の私の反応は、「えらいなー」でした。その後、次女結婚、婿の家族の教会で感動の結婚式、そしてかわいい孫誕生。お婿さんに「天国でも孫と一緒にになりたいでしょう？」この一言で私は受洗を決心、19年が経ちました。夫は、私より数か月前に牧師になった婿によって受洗し、やがて長女家族もクリスチャンとなりました。長いブランクの時でも、神様が共にいて下さったことに感謝しています。

- a. 稲本修一。
- b & c. 大阪生まれ。小学3年の春に、両親が茨城県の岩間という小さな町で教会を牧会することになり、大阪の祖母に預けられていた私は、蒸気機関車で東海道線～常磐線の岩間で両親と合流、所要時間は20時間、長かった！父が副業として始めた印刷業に、高校卒業と同時に従事。あれから54年、いくつもの山谷がありましたが、仕事に追われる日々を夢中で走ってきました。ところが、このコロナ騒ぎで当社の様子も一変、2月までは順調でしたが、3月、4月は売上半減以下、社員も週に2、3日の自宅待機となってしまいました。50年以上仕事をしてきて初めての経験です。じたばたしても始まらないので、今出来ることは何なのか

考えているところです。とりあえず健康維持、毎日1時間くらいのスロージョギングとストレッチ。ジョギングの際には、日本の著名な俳優がそれぞれの登場人物を担当している「聴くドラマ聖書」をイヤホンで聴いています。迫力満点！これが単調なジョギングを楽しくしてくれています(無料アプリで聞けるのでお薦めです)。

- a. <sup>いしはしみつお</sup>石橋光朗。
- b. 愛媛県弓削島生まれ。昭和47年に茨城県牛久市に移り、そこから東京は上野にて税理士事務所を経営してまいりました。いまは実質的に引退して息子に譲っており、趣味の浪曲などに勤しんでいます。浪曲は、この春にギンザシックスで披露の機会を予定していたものの、来年に延期となってしまいました。いまは都内に出ることもできず家の中で、はじめての家事手伝い、この歳になってはじめて妻の苦勞を知ることになりました。
- c. もともと茨城YMCAの会計監査に関わっており、そこからメンバーに入りました。現在はなかなか例会に参加することは難しくなっており心苦しいのですが、引き続きよろしく願いいたします。

- a. <sup>みやたやすお</sup>宮田康男。
- b. 地元茨城・常総市生まれ。東京YMCAにて働いていましたが、定年間近の55歳で茨城YMCAにきて17年を迎えました。毎日、守谷から車で通っています。子どもたちは巣立ち、娘の家族は浦和に、息子の家族はすぐそばに住んでいます。家内と2人きりですが、2人とも仕事をもっていますので、ひっそりと暮らしています。2人とも好きな山登りもコロナの影響で出歩けなくなったため、近くの鬼怒川、利根川の土手などを散歩しています。
- c. 東京YMCAの時代は、むかでワイズメンズクラブの担当主事でしたので、茨城に来て初めての仕事は、茨城ワイズメンズクラブの発足でした。それが、あつという間の15周年ということで、改めて月日の経つのが早すぎる気持ちです。茨城ワイズの今までとこれから、とても興味があります。

- a. <sup>おおさわあつと</sup>あつとんこと大澤篤人です。
- b. ギリギリ昭和生まれ、神奈川で18年を過ごし茨城は足掛け16年目。YMCA歴も、リーダー→OB→職員と変遷しつつ足掛け16年目となりました。3歳の娘がおります。
- c. いつの間にか担当主事に。集うことが楽しみになるような集いが持てて、子育て世代以上の大切なYMCAへの間口になればと願っています。





## 【会計・事務報告】

## 4 月会計報告

前月繰り越し	77,834
収入	0,000
支出	▲0,000
4 月 10 日時点残高	77,834

ワイズメンのみなさまにおかれましては、引き続き会費の前納について、ご協力を賜ればと思います。

## 【茨城 YMCA 報告】 大澤 篤人

## 4 月の報告

- 4 日(土) つくばオーブ保育園 入園式
- 6 日(月) 早天祈祷会 中止
- 6 日(月) 小学校 休校(4/27 現在、5 月末まで)
- 8 日(水) YMCA 幼保園 入園式
- 10 日(金) 主任会
- 11 日(土) 幼児保育/学童保育職員研修会 中止
- 13 日(月) 職員礼拝/職員会 中止
- 18 日(土) 東日本役員研修会 中止
- 18 日(土) 茨城 YMCA 理事会 書面評決に
- 19 日(日) かすみがうらマラソン 中止

## 5 月の予定

- ※ 5 月中の諸活動は、4/27 現在、すべて中止
- ※ 6 月以降のプログラムについては、5/20 までに実施するかどうかの検討を行う予定

## 【編集後記】

2016 年 7 月よりずっとブリテンを編集してきたのですが、今月号は会長の熊谷ワイズに編集していただきました。というのも、小職は自宅の PC が古い古い Mac のため、毎度ネットカフェで編集をしているのですが、東京ならびに神奈川エリアに緊急事態宣言が発令されたために、ネットカフェが閉まってしまったのです。このさなかに編集作業を快諾してくださった熊谷さんには本当に感謝しております。そして、来月号はまた自力で編集できる日が戻ってくることを願っております。

(書記 村田)

このブリテンは Microsoft Word で編集しました。もともと Word は Mac のワープロで、NEC の PC98 では「一郎郎」が主流でした(当初人気を二分した「松」というワープロもありましたが…)。思えば PC との付き合いは、Windows の前の MS-DOS のさらに前の時代から。その頃はデータもプログラムもカセットテープに保存していました。やがてフロッピーディスクが普及し、サイズが 8 インチ→5.25 インチ→3.5 インチと小さくなってゆき、逆に記憶容量が増えてゆきました。フロッピーディスクが 5.25 インチだった頃、月収を超える PC のセットを購入しました。その後すぐに 100MB(GB じゃありません MB)の外付けハードディスクを 10 万円もしたのに躊躇なく購入したことを思い出します。日本人の多くが海外旅行に出かけ、時代はバブルと呼ばれていました。Windows95 の登場はまだ先でした。この新型コロナウイルス禍がもし、あのバブルの時代に起きていたら…と思うとぞっとします。インターネットは普及しておらず、もちろんスマートフォンも人々は手にしていませんでした。Skype も Zoom もない社会では、世界経済への打撃は今よりもっとも甚大だったのではないのでしょうか。この新型コロナ禍は現在の我々への試練、(神様が備えて下さっている)出口は、きっとみつかるはずです。

(会長 熊谷)

